

- ①粗筋をとらえることのできる能力
- ②イメージを描くことのできる能力
- ③人物と人物との関係をとらえることのできる能力

- ④状況に応じた登場人物の気持ちを読み取れる能力
- ⑤主題に迫ることができるとる能力

- (3) 形成的テストの作成
- 目標構造図の基礎的・基本的な目標の達成フィード・バック機能の活性化のために形成的テストを指導の重点に沿って設問し実施した。
- (4) 到達度テストの作成

単元の学習の終了後、児童たちの学力の定着を把握するために基礎的・基本的な目標の他に発展的な目標を加えて設問し実施した。

### 三、研究実践の概要

#### (一) 検証授業

##### 1 検証授業1 第三時

題材 「どっこい海へ行く」

本時の学習部分は、教材文の冒頭にあたる。ここでは、次のような点に留意して検証を行った。

- ①「どっこい」は、このころのやさしい男だった。」という叙述の具体化
- ②様々な叙述から、「どっこい」という男の人物像をイメージ化する。
- ③「どっこい」の視点で「よねじいさん」の会話文を視み取る。

##### (2) 検証授業2 第五時

本時の学習部分には、「どっこいが山おくの村から海への村へ着くまでの

苦勞と海への村へ着いた時の喜びの様子」を次のような点に留意して読みを深めた。

- ①海への村へ行くまでの周りの様子を十分に思い描く。
- ②「どっこい」の苦勞を表す具体的な叙述をとらえる。

- (3) 検証授業3 第五時
- 題材 「名前を見てちょうだい」

本時は、「えつちゃん」「きつね」「牛」が、「大男」と出会う場面である。ここでは、次のような点に留意を

して検証を行った。

- ①「大男」と「三人」の二つの視点から読み取る。
- ②会話文を動作化を用いて音読し、登場人物たちの心情に迫る。
- ③各自の「読み」を音読を用いて表現する。

##### (4) 検証授業4 第六時

本時の学習部分には、「えつちゃん」が「大男」にたち向い、「大男」がしぼんでいく様子が描かれている。次のような点に留意をした。

- ①児童たちの感動を軸にして「読み」を深める。
- ②「えつちゃんの怒り」を叙述に即して検証を行った。

### 資料2 到達度テスト

①「やあい、やあい、くやしかったら、つり橋わたって、かけてこい。」

山の子どもたちが はやしみました。

トッコは、きゅつとくちびるをかみしめて、ゆれるつり橋を見ました。ふじづるで、できた橋の下には、谷川が ゴーゴーとしぶきを上げて、ながれています。

橋は、せまいくせに、すいぶん長くて、人が歩くとも、よくゆれます。おまけに、今にも、ふじづるが、切れそうなんです。②ギユツ、ギユツと、きしむのです。□□□

さすがに、負けずきれいなトッコも、足が、すくんで、しまいました。

①「このところは、だれがなしているのですか。」

(1) 谷川は、どんな音をたてて、ながれていますか。

(2) 谷川は、谷川の川のながれかたは、はやい、おそいのどちらでしょう。

(3) ギユツ、ギユツとは、何が、どうなる音でしょう。

(4) 何が、どうなる音でしょう。

(5) それは、どのこぼれから、わかりますか。

(6) それは、どのこぼれから、わかりますか。

(7) くやしかったら、トッコのくやしそうなうすが、わかるところに、せんをひきましょう。

(8) トッコは、いつほどどんな女の子なのでしょう。お話をこの話をたづねて、こたえましょう。

(9) トッコは、つり橋をわたることができた、でなかつた、さて、どちらでしょう。

(10) それは、どのこぼれから、わかりますか。

(11) 「のなかに、はいることばをアイウのなから、えらんでかきましょう。」

(12) アしかし、イそこで、うだから

して具体的にとらえる。

- ③動作化を用いて、場面の様子を具体的にとらえる。

#### (二) 評価

- (1) 通読段階での児童たちの「読み」の実態を観点別にとらえる。
- (2) 形成的評価の機能を生かした形成的テストの実施。
- (3) 主目標「話の順序に気をつけて読む」の評価(粗筋を千二百字以内でまとめる)
- (4) 到達度テストの実施(資料2参照)

### 四、研究の成果と今後の課題

#### (一) 研究の成果

- (1) 児童たちが、言葉に着目して教材文を読み取るようになった。
- (2) 登場人物の心情をとらえる学習に抵抗を示す児童が、少なくなった。
- (3) テストによって個人内の学習の成果を一人一人の児童が把握し、学習意欲が高まった。
- (二) 今後の課題
- (1) 言葉探しの学習に終始している児童への適切な指導の工夫
- (2) 正しい「読み」から「豊かな読み」へと、「読み」をふくらませていくための指導の改善
- (3) 個人内評価を重視した指導計画の作成